

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	児童が階段を使用する場合は、階上と階下の職員が声をかけおこない、必ず見守りをするようにしております。	教材や教員、道具等の保管場所や適宜の移動を工夫することで、空間の確保に努めてまいります。
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	5		日々の清掃と消毒をおこなっております。	
	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	静かな環境が必要となる場合に、個別の部屋を使用することができるように、工夫と配慮をしております。	平均で3～4名の児童が各部屋で活動しております。イレギュラーな事業に対応する場合には、スムーズな移動ができるように心がけてまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		日ごとのミーティングと定期的なリフレクション会議をおこない、全職員で課題を共有し、その改善に努めております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		送迎で面談する時や、個別の電話連絡などで得た意向に、真摯に向き合って改善策を講じてまいります。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		機会を設けて得た建設的意見を積極的に採用し、PDCAにつなげてまいります。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修についての年間計画を策定し、その計画に沿って適時の研修をおこなっております。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		公式Webサイトに公表しております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。			放課後等デイサービス計画の作成にあたっては、事前に必ずアセスメントを実施しております。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		全職員が参画して検討しております。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		各児童ごとの個別ファイルの先頭ページに計画書を配置し、支援時に必ず確認するようにしております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	インフォーマルアセスメントは、日々の支援の中でおこない、職員間で共有と検討をしております。	フォーマルアセスメントは現在おこなっておりませんが、今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		厚生労働省が示すガイドラインにのっとり支援内容を設定しております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		活動プログラムの立案はチームでおこなっています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		様々な教材や教員をそろえて、また、グループワークを適宜組み合わせることで、活動が固定化しないようにしております。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		集団が苦手な児童には、工夫した方法で参加しやすいような配慮をおこなっております。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日必ずミーティングをおこない、必要な連携内容を確認した上で支援にあたっております。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	5		できたことや難しかったことを職員間で共有しております。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		日々必ず記録を残して、振り返りができるようにしております。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的モニタリングだけではなく、必要に応じた見直しをおこなっております。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4	1	個別支援計画の中に明記し、それに基づいた具体的な活動を組み合わせております。	不足している部分がないかを検証し、適宜具体的な活動を取り入れてまいります。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	5		自己選択と自由選択を区別し、児童が見出しを持って選択・決定できるように支援しております。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		当事業所の児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		各関係機関との連携体制を整えております。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		必要に応じての情報共有を適宜おこなっております。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		担当者会議等により情報共有と相互理解に努めております。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		可能な限りスムーズな移行を図るために、必要な情報提供ができるように心がけております。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	必要に応じた機会を設けております。	積極的に機会を活用できるように心がけてまいります。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	夏休みなどの長期休暇を利用して、コンパス内の他事業所の児童との交流をおこないました。	外部施設との交流は今後の課題として検討してまいります。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		協議会への参加は今後の課題として検討してまいります。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時を中心に面談をおこない、情報共有に努めております。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	お困りことなどについては、都度アドバイスをおこなっております。	ご家族への研修等については今後の課題として検討してまいります。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用契約時に重要事項説明書により説明しております。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		支援計画の定期的更新のほか、適宜うかがうように努めております。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		同意のもとにサービスを提供しております。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		日頃の対応を通じて、相談をしやすい環境作りを心がけております。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		保護者会等の開催については今後の課題として検討してまいります。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情対応マニュアルを作成・提示し、迅速かつ丁寧な対応ができるようにしております。	
	42 定期的に通信等が発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		月ごとの事業所レター、四半期ごとのCOMPASS便り、ブログ等により情報を発信しております。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		定期的な研修をおこなうことで重要性を周知徹底し、その取扱いに留意しております。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		意思疎通や情報伝達の方法を児童ごとに検討し、分かりやすい方法を心がけております。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		地域住民との交流は現在おこなっておりませんが、今後の課題として検討してまいります。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各項目とも定期的に研修と訓練をおこなうことで、有事に備えた体制を整えております。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		水害、地震、火災、不審者と災害ごとに分けて訓練をおこなっております。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		事前確認を徹底し、児童の安全を最優先にしております。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		医師の指示書と保護者様からの聞き取りにより、必要な対応をしております。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		研修・訓練はもちろんのこと、日々のミーティングの中で指摘されるリスクの可能性に対応し、安全管理に十分留意しております。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		取組み内容についての指示をおこない、随時確認していただけるようにしております。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5		都度ミーティングをおこなうことで原因を究明し、再発防止に向けた対応策を検討・実施しております。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的な研修をおこなっております。	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		原則として身体拘束をおこないません。やむを得ず必要となる場合には、事前に十分な説明をおこない、保護者様の承諾を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載し、適切に対応してまいります。		

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。